

はぶ ひろし
土生 裕さん（有漢町）
 北海道出身

① 活動内容

音楽の経験を生かし、音楽家を有漢町に招いてのワークショップやライブの開催に加え、途絶えていた地元の音頭の復活など、音楽をテーマとした活動に取り組んでいます。また、復活させた水車小屋を拠点に、里山資源を生かした地域内外の交流事業に取り組んでいます。

② 協力隊になった経緯

知人を訪ねて高梁市に来た時に、「ここに住む」と決意。直感と瞬発力で高梁市に来ました。



にしはら ちわり
西原 千織さん（川上町）
 東京都出身

① 活動内容

地域の農産物や素材を使ったお茶商品の開発、市内に残っている在来種のお茶の木の調査・研究をしています。また、高梁や岡山のお茶を使用してワークショップを開催するなど、高梁市のPR活動に取り組んでいます。

② 協力隊になった経緯

東京でカフェを営んでいたとき、鎌田隊員が「高梁紅茶」を紹介してくれました。そのことをきっかけに高梁市を知り実際に訪れてみました。高梁の風土はお茶に適しており、この土地ならではの



有漢ちゃんぶるオーケストラを結成

③ 今後取り組みたいこと

有漢町内の古民家に住んでおり、この古民家をさまざまなアーティストや田舎暮らしを体験したい都市部の人たちが宿泊できるスタジオに整備し、新たな交流や発想を生み出したいと思っています。

④ 高梁のことが好き！

旬の食材を日々食べられるところがたまりません。自然が豊かで、安心に暮らせるということは本当に素晴らしいです。

③ 今後取り組みたいこと

地域の人や観光客など、さまざまな人が交流できる場としてのお茶屋さんの開業を目指しています。また、ハーブ(葉草)やスパイスの素材探しや栽培で、新たなお茶の商品開発を進めながら、在来種のお茶畑を作り、高梁の風土を感じることでできるお茶づくりをしていきたいです。

④ 高梁のことが好き！

ふと外を見た時に目に入る景色がとても美しいです。また、果物やお米、猪肉も美味しいですし、お餅も大好きです。そして備中神楽は本当に素晴らしく、全世界の人に観てもらいたいです。



高梁の在来種で作った釜炒り茶



もりなが ゆうじ
森永 祐史さん（備中町）
 千葉県出身

① 活動内容

備中漆の復活を目指し、漆掻き技術の習得、漆の試験採取、漆を用いた商品開発に取り組んだり、地域の特産品を用いた6次化商品の試作に挑戦したりしています。また、顔を覚えてもらうために備中町内だけでなく市内の行事にも参加しています。

② 協力隊になった経緯

田舎に移住したいという思いがあり、災害が少なく子育てなどの支援もしっかりしている高梁市に引かれました。大阪などで開催されている移住相談会に参加し、そ

**タウンミーティングを
開催しました**

市と市民が対話を行い、幅広い意見をお聴きするとともに、市政に対する理解を深めるために開催する「タウンミーティング」。

今回は、市と地域おこし協力隊員が「地域を元気にする」をテーマに、日ごろの活動を通して感じている現状や課題、それらの解決に向けたそれぞれの役割などについて話し合いました。

2グループに別れ、地域が理想の姿になるために「協力隊」「地域」「行政」は何ができるかを話し合い、意見を交換。「地域愛を持つこと」「地域・文化・世代を超えた『思い』を共有することが大切」などと発表しました。

その後、坂口正治さん(市行政経営アドバイザー)から、「今後も理想の姿を目指して活動してほしい」との講評をいただきました。

問 秘書広報課 ☎(21)0210



漆の木から樹液を採取

こで出会った高梁の人の良さも好印象でした。また、漆に関しては素人でしたが、工芸やものづくりに興味があったので高梁市の協力隊に応募しました。

③ 今後取り組みたいこと

備中漆の再興が活動テーマなので、漆掻き技術の習得とともに、自ら採った漆を用いての漆器製作に挑戦していきます。また、飲食関係の仕事をしてきた経験を生かした活動もしていきたいです。

④ 高梁のことが好き！

どこにでも川が流れている景色があり、山を上がると一気に空気が変わるところ。そして、地域の結びつきが強く、人が優しいところです。